

令和4年度事業報告

● 基本方針

昨年は、新型コロナウイルス感染拡大防止策を取るため、一部事業の縮小や見送りを余儀なくされた。

「アイヌ施策推進法」並びに「北海道アイヌ政策推進方策」による総合的なアイヌ政策が推進されるよう働きかけるとともに、とりわけアイヌの生活向上とエカシ・フチに対する支援策を内閣官房アイヌ総合政策室や北海道選出国會議員に要請した。

4年目となるアイヌ施策推進法に基づく交付金事業については、道内36自治体、道外1自治体において展開され、当会理事長が道内自治体を訪問し、積極的な活用を促した。

「民族共生象徴空間ウポポイ」の開業以来、協会事業とも連携し普及啓発を行った。

法人の基盤となる第1類正会員（以下、地区協会）はもとより、地区協会本会員との連携を深めつつ、アイヌ民族自らの活動展開と国民理解により得られる協賛により法人運営の健全強化に努めた。

1. アイヌ施策推進法の法制理解と利活用
2. 生活向上施策及び文化振興施策の見直しと充実
3. 新法制定を踏まえた組織強化への取組
4. 新法制度の全国展開を見据えた道外アイヌの認定等

< 2つの項目 >

- 1 組織・活動強化の推進
- 2 事業の推進

1 組織・活動強化の推進

1 要請活動等の展開

アイヌ施策推進法の施行後も先住民族アイヌに関する総合的なアイヌ政策を確実に推進していくため、国政や関係行政機関に対し働きかけを行った。

また、北海道大学アイヌ・先住民研究センターとの協働による啓発・研修活動等を進め、人権啓発活動等に取り組む（公財）人権教育啓発推進センター、反差別国際運動等の情報入手に努めた。

(1) 「アイヌ施策推進法」の施策活用

アイヌ文化の伝承・保存活動への取組みを推進するため、各地区協会はもとより、各古式舞踊保存会などで会員一人ひとりがこの施策を有効に活用できるよう、事業の周知と実施方法についての助言、助力を行った。

(2) 政府並びに各政党に対する働きかけ

アイヌに対する理解促進や150年間何も変わっていない厳しいアイヌの生活に対し、生活の向上や子弟の教育の充実をお願いした。

特に、貧困と差別の中で悲しい思いをされてきたエカシ・フチが、この国に生まれて良かったと思える政策の結果を出していただくよう要請した。

○政府等

- ・松野官房長官との面談 令和4年 5月 8日（ウポポイ）
- ・岡田内閣府特命大臣との面談 令和4年 9月25日（ウポポイ）

○政党等

- ・鈴木宗男参議院議員 令和4年 4月17日（札幌）
- " 令和4年10月1日（札幌/北海道セミナー）
- ・鈴木貴子衆議院議員（アイヌ議連事務局長） 令和4年 7月7日（東京）
- " 令和4年10月1日（札幌/北海道セミナー）
- ・山口那津男参議院議員 令和4年10月1日（ウポポイ）

○アイヌ政策推進会議 令和4年 7月14日（首相官邸）

○内閣官房アイヌ総合政策室との打合せ

- ・内閣官房吉井室長との面談 令和4年 7月28日（札幌）
- " 令和4年11月17日（札幌）
- " 令和5年 1月11日（札幌）
- " 令和5年 2月21日（札幌）

(3) 北海道への対応

- ・相田アイヌ政策監との面談 令和4年 4月20日

(4) 民族共生象徴空間の施策推進に対する働きかけ

①民族共生象徴空間ウポポイの認知度の向上

ウポポイの啓発パンフレット等広報資材を、公共施設や商業施設の利用者に配付したほか、公共施設等に配架、留置きをお願いし、ウポポイに対する国民理解、認知度の向上に努めた。

(5) 遺骨・慰霊について

①アイヌ遺骨及び副葬品（12大学保管分）の慰霊施設集約後の鎮魂式並びにカムイノミ・イチャルパ

- ・令和4年10月16日（日）ウポポイ慰霊施設（白老町）
慰霊施設にアイヌ遺骨が集約された後の鎮魂式並びにカムイノミ・イチャルパを実施した。
新型コロナウイルス感染症拡大を防止するため参列者を制限し、大学関係者やアイヌ協会役員、地区協会長の参列をいただいた。

②北海道博物館におけるイチャルパへの協力（主催者：北海道博物館）

令和4年度の実施を予定したが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため実施が見送られた。

③研究倫理検討委員会準備会

○アイヌ民族に関する研究倫理指針「研究倫理委員会」準備委員会

- ・日時 令和4年5月 8日（中村副理事長 リモート会議）
- ・日時 令和4年7月19日（中村副理事長 リモート会議）

(6) 農林漁業対策の推進

農林漁業対策については、地域の営業実態に応じた生産基盤や近代化施設の整備を進めるため、引き続きアイヌ農林漁業対策事業の積極的な活用を図るとともに、団体会員への制度理解に努めた。

(7) 住宅対策の推進

住宅の改善促進に努めた。

(8) 先住権、人権に係わる機関・組織等に対する働きかけ

① 法務省の啓発事業「アイヌの人々の人権に関する啓発動画「アコロ青春 a=kor アコロ」への協力をするとともに、イランカラブテキャンペーンなどの啓発事業や各種人権啓発資料の活用などにより、人権思想の普及・啓発に努めた。

② アイヌ民族の先住域である千島、樺太、北海道などの歴史的な実証資料や図書資料の収集に努めた。

③ 「FSC森林認証制度における管理木材リスク評価」について

「製紙会社が調達する北海道産木材がアイヌの伝統文化継承を阻害するような森林伐採に由来しないか、或いは森林域においてアイヌ文化の振興・発展にどのような支援が必要か」といった観点から王子製紙と日本製紙、千歳林業、新秋木工業が実施するヒアリングに道協会・関係地区協会が協力した。

④北海道大学に対する要請

北海道大学教員による不適切なSNS投稿について、国際社会や日本政府、有識者から先住民族として認知されていることを踏まえ、こうした投稿が二度と繰り返されないよう、当該教員に対して厳格なる指導の徹底と当該教員に対しまして猛省と意識改革を強く求める要請書を発出し、改めて総長と直接面談した。

・令和5年2月13日 国立大学人北海道大学総長 寶金清博

北海道アイヌ協会 大川理事長、中村副理事長、小川常務理事

(9) 自主的啓発活動の推進

平時、内外からの照会に応じて啓発活動の推進に努めた。

あわせて広報紙、冊子、チラシ、道の啓発誌、DVDなどをとおして、平時継続的な周知を図った。

(10) ホームページの充実

当法人のホームページによりアイヌ協会の活動方針や各種資料、最新の情報提供に努めた。また、新規会員募集についての情報提供を行った。

(URL : <http://www.ainu-assn.or.jp>)

(11) 「アイヌ文化交流センター」の運営への協力

全国に向けたアイヌ文化の発信拠点として、東京都に設置されている「アイヌ文化交流センター」との連携を図り、事業運営等に協力した。

(12) 道外在住アイヌに対する施策実現への働きかけ

総合的なアイヌ政策を推進していくため、関東域の関係団体・個人と連絡を密に情報を共有を行った。

(13) 北海道大学アイヌ・先住民研究センターとの事業連携

同センター実施事業への協力を行うとともに、当協会事業に対するセンター教員等の支援協力を得た。

- (14) 北海道博物館（アイヌ民族文化研究センター）とも連携を密にし、事業の推進に協力した。
- (15) 教科書等のアイヌ民族に関する調査研究
 令和4年度から使用する高校教科書等の記述について情報収集に努めた。
 また、内閣官房が主催する「アイヌに関する教科書編集セミナー」（令和4年11月7日）に対応した。
- (16) 教育相談員の配置等
 既存の北海道教育庁、市教育委員会に配置されている教育相談員と協力・連携し、地元の意向に即した支援を行った。
- (17) 図書・刊行物等の過誤対応
 アイヌ民族の歴史や文化に関する刊行物（観光資料）の記述について、（公社）北海道観光振興機構に設置された「アイヌ文化分科会」など関係機関とも連携、協力し正確な知識の普及に努めた。

2 組織の強化

(1) 団体会員等との連携強化

アイヌウタリが一致団結し運動を展開するため、過去の不祥事を教訓に二度とくり返さぬよう常に心に刻むこととし、各地区協会（団体）や会員（本会員）への情報提供や共有を図りつつ、組織運営に努めた。

各地区協会の総会、地区協会事業等への参加については、新型コロナウイルス感染症拡大防止に努めつつ協会役員が出向いた。

<参加地区、出席役員一覧表>

※各地区協会からの通知、報告もとに掲載

※各地区事業は、コロナ対策が講じられた。

期	日	行 事 名	出席役・職員
令和4年	4月17日(日)	新冠アイヌ協会総会	
	4月17日(日)	むかわアイヌ協会総会	
	4月17日(日)	えりもアイヌ協会総会	
	4月17日(日)	様似アイヌ協会総会	
	4月18日(月)	弟子屈アイヌ協会総会	
	4月17日(日)	白糠アイヌ協会総会	
	4月17日(日)	苫小牧アイヌ協会総会	
	4月20日(水)	阿寒アイヌ協会総会	
	4月21日(木)	釧路アイヌ協会総会	
	4月23日(土)	白老アイヌ協会総会	
	4月24日(日)	平取アイヌ協会総会	

期	日	行 事 名	出席役・職員
	4月24日(日)	三石アイヌ協会総会	
	4月	ㇿㇰㇰㇰㇰㇰ(浦幌アイヌ協会)総会	書面表決
	4月	新ひだかアイヌ協会総会	書面表決
	4月	浦河アイヌ協会総会	書面表決
	4月	豊浦アイヌ協会総会	書面表決
	4月	登別アイヌ協会総会	書面表決
	4月	標津アイヌ協会総会	書面表決
	5月 7日(土)	第10回シベチャリ武四郎まつり	
	5月15日(日)	芽室アイヌ協会総会	
	5月22日(日)	室蘭アイヌ協会総会	
	5月22日	むかわアイヌ協会総会	
	5月27日(金)	伊達アイヌ協会総会	
	5月	日高地区アイヌ協会連合会総会	書面表決
	6月 5日(日)	新ひだか 第34回イチャルパ	
	6月 5日(日)	本別アイヌ協会総会	理事長
	6月12日(日)	弟子屈 第6回パリモモ祭り	
	7月7日(日)	白糠 第44回ふるさと祭り	
	7月16日(土)	八雲 カムイノミ・イチャルパ	理事長
	7月23日(土)	豊浦 カムイノミ・イチャルパ	理事長
	8月 7日(日)	帯広 アイヌ共同納骨堂慰霊祭	小川常務理事
	8月13日(土)	八雲アイヌ先駆者鎮魂の碑お参り	理事長
	8月21日(日)	浦幌 カムイノミ・イチャルパ	
	8月24日(水)	釧路 第51回春採コタン祭り	
	8月29日(月)	阿寒 阿寒町納骨堂イチャルパ	
	9月 1日(木)	新冠 ポロシリ生活館落成式	理事長
	9月 4日(日)	日高 無縁佛供養祭・アイヌ文化交流会	理事長
	9月 4日(日)	帯広 チョマトー祭り	
	9月11日(日)	浦幌 第4回アシリチェプノミ	
	9月18日(日)	新冠 第40回イチャルパ	理事長
	9月23日(金・祝)	第75回シャクシャイン法要祭	理事長、副理事長、常務理事
	9月25日(日)	洞爺湖 アイヌ先住民族慰霊祭	開催中止

期 日	行 事 名	出席役・職員
9月27日(火)	恵庭アイヌ協会総会	
9月29日(木)	釧路 第41回カムイチェップ祭	
10月 2日(日)	釧路町 吉良平治郎 慰霊祭	
10月 9日(日)	三石 第29回イチャルパ	
10月 9日(日)	鶴川 第31回ししゃも・カムイノミ	理事長
10月16日(日)	帯広 アイヌ文化にふれあう集い	
10月21日(日)	別海アイヌ協会臨時総会	小川悠治理事(根室連合会長)
10月23日(日)	三石 アイヌ音楽祭2022	
令和5年1月	長万部アイヌ協会総会	書面表決
2月	八雲アイヌ協会総会	書面表決

(2) アイヌ施策推進法によるアイヌ施策の推進

アイヌ施策推進法に基づく施策の推進に国民理解を深めていただくため、国民を代表する国会議員にご理解とご協力をお願いした。

(3) 会員研修事業

「会員研修会」

令和5年3月25日、26日の両日、地区協会代表者による会員研修会を実施した。

第Ⅰ部 「最近のアイヌ政策関係の動向について」 内閣官房アイヌ総合政策室

「交付金制度の活用について」 個別相談

第Ⅱ部 「アイヌ民族研究に関する研究倫理検討委員会準備委員会における検討状況について」 北大アイヌ・先住民研究センター 加藤センター長

「意見交換・自由討議」

(4) 地区別懇談会

根室アイヌ協会 令和4年11月23日(水・祝)

(5) 青年女性対策の推進

「青年・女性の集い」

新型コロナウイルス感染症に関する諸状況から、参集者の皆様の健康と安全を最優先とし、開催を中止した。

(6) 各種相談員の合同研修会

日 時：令和4年10月11日

場 所：かでの2・7

内 容：初任者研修(相談員就任歴1年～2年)

研修①「北海道におけるアイヌ施策について」 北海道アイヌ政策課

研修②「アイヌ政策推進交付金について」 内閣官房アイヌ政策室

グループ討議、意見交換

参加者：36人(オンライン参加4名含む)

(7) 連帯意識の高揚

各種貸付金の返還について、各個人の責任において必ず履行されるよう償還義務の確認、連絡徹底に努めた。また、償還が滞っている地区協会と連携し償還督促に努めた。

(8) 生活館活動

各地区独自の活動実施にとどまった。

(9) 市町村への働きかけ

アイヌ施策推進法に基づく新しい交付金事業について情報共有と連携を図った。

また、市町村が行っているアイヌ関連施策の充実、生活格差の是正等、引き続きアイヌ施策や推進体制が充実するよう協会三役が関係市町を訪問し働きかけを行った。

- ・令和4年 5月20日 東川町長
- ・令和4年11月24日 根室市長
- ・令和5年 3月16日 " (副市長)
- ・令和5年 2月 8日 松前町長

(10) 財政基盤の強化

会費収入は減少傾向（本会員の減）にあり、賛助会員、寄付金などの自主財源の確保に努めた。

3 会務の運営

(1) 理事会、アイヌ協会役員研修・連携会議の開催

総会で議決された事項及び会務の執行を適正かつ効果的に推進するため、理事会を年4回程開催した。

また、必要に応じて適宜三役会議を実施した。

<理事会>

回数	開催日	場所
第1回	令和4年 4月29日(金)	札幌市
第2回	令和4年 6月30日(木)	札幌市
第3回	令和4年12月 9日(金)	札幌市
第4回	令和5年 3月25日(土)	札幌市

<役員研修・連携会議>

回数	開催日	場所
第1回	令和4年 4月28日(木) 29日(金)	札幌市
第2回	令和4年 6月29日(水) 30日(木)	札幌市
第3回	令和4年12月 8日(木) 9日(金)	札幌市
第4回	令和5年 3月25日(土)	札幌市

(2) 監事監査の実施

当会の財務規程に沿って2回の監査を実施した。

令和4年度の執行部の業務や会計事務の適正執行に努め、監事監査とともに公認会計士による監査を実施した。

- ・ 第1回会計監査：令和5年1月14日(土)
- ・ 第2回会計監査：令和5年4月22日(土)
- ・ 公認会計士監査：令和5年4月22日(土)

2 事業の推進

(1) 社会的地位の向上に関する啓発と施策の推進

先住民族アイヌに関する知識の普及と理解促進のため、一般市民及びアイヌ当事者に対し、国際人権規範や人種、民族等に係る情報収集や対面交流等、適切かつ効果的手法により各種広報・啓発を行った。

① 広報紙「先駆者の集い」の発行

年2回(B5版p.8)各4,300部発行。協会団体会員本会員、賛助会員や行政機関、研究者等に無料配付した。

② ホームページによる情報発信

当協会ホームページにより、先住民族アイヌの情報(組織概要、アイヌ史年表、国連活動、民芸品事業者、観光ガイド等)を発信した。

③ 「2022年 国際先住民族の日記念事業」

新型コロナウイルス感染症に関する諸状況から、参集者の皆様の健康と安全を最優先とし、開催を中止した。

④ 「東京2020オリンピック・パラリンピック」レガシー事業

「東京2020オリンピック・パラリンピック」において発信したパフォーマンスを継承した「チームパラル」により新たな演示を制作し公演に備えた。(23分 12演目)

新型コロナの影響を受け、道内外の公演が見送られたが、ハワイ公演(北海道とハワイ州の経済交流事業の一環)を実施することができた。

(2) 各種貸付金の貸付

福祉(緊急使途支援)、環境整備(浴室、墓碑整備)、入学一時(大学、私立高校、専修学校)を、道内に居住するアイヌの生活向上や生活環境整備の支援のために、使途に応じて各種貸付を行った。

① 福祉資金

- ・ 貸付限度額10万円以内 21件(2,100,000円)の活用があった。

② 環境整備資金 申請なし

○浴室整備資金

- ・ 貸付限度額20万円以内 0件(0円)

○墓碑整備資金

- ・貸付限度額30万円以内 0件 (0円)

③入学一時資金

○大学入学一時資金

- ・貸付限度額30万円以内 2件 (400,000円)

○私立高校一時資金

- ・貸付限度額20万円以内 1件 (200,000円)

○専修学校一時資金

- ・貸付限度額30万円以内 1件 (300,000円)

(3) 職業の確立及び教育の振興に関する施策の推進

道内居住アイヌの就労、就職に係る技能向上や各種免許取得等の所要経費の助成並びに就職相談や求人開拓等に携わるアイヌ雇用推進員設置による指導、アイヌ民工芸品生産者を対象に販路拡大や就業支援、技能向上などの各種支援策を推進した。

①就職奨励事業

○就労や就職に係る支度費用や就職条件のための「就職支度資金」、「自動車等免許取得資金」などの所要資金を助成した。

- ・就職支度資金23,760円 0件 申請なし
- ・技術習得資金50,000円以内 5件 (250,000円) の給付を行った。

②アイヌ雇用促進事業

○アイヌの雇用促進に対処するため雇用推進員を設置、就労・就職相談や求人開拓等によりアイヌの雇用と生活安定の促進を図った。

- ・全道13カ所のハローワークに雇用推進員を配置し、当該業務に従事した。
- 延べ334日間の活動で362件の相談を受理、68件の就職・求人に結びつけた。

令和4年度活動実績は次のとおり。

項目		月 別												計
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
1. 活動日数		28	28	26	28	28	28	28	28	28	28	28	28	334
2. 相談 件数	1) 求職者相談件数	32	32	29	32	30	30	30	29	29	29	29	31	362
	有効求職者	23	19	19	19	19	20	20	20	23	19	20	20	241
	新規学卒者	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	3
	その他	8	13	10	12	11	10	10	9	6	10	9	10	118
	2) 事業所相談件数	1	1	1	1	0	1	1	1	1	1	1	1	11
	一般求人	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	新規学卒者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	1	1	1	1	0	1	1	1	1	1	1	1	11
3. 安定所に取 次いだ件数	求職取次	7	4	4	5	5	4	6	4	4	4	6	4	57
	求人取次	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	2
4. 職場適応指導件数		3	3	3	1	6	8	2	3	3	4	2	5	43
5. 安定所に取次いだ求人情報のうち求人受理件数 (求人数)		1	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	3
		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6. 就職に至った件数		4	10	7	5	4	4	5	5	6	0	10	8	68

③アイヌ中小企業経営改善指導事業

アイヌ事業者の事業活動の促進と経営安定化を図るため、指導事業を実施した。

④アイヌ中小企業振興対策事業

○アイヌ民工芸品生産者の販路拡大や後継者育成、さらには新製品開発や需要喚起、民工芸等の製作技術や文化の普及・理解促進のために行う作品展示、製作実演・体験、販売などによる「民芸品展示・販売会」を開催した。

開催地	場 所	期 間	体験講師／実演者
千歳市	新千歳空港 ターミナルビル 2階	令和4年 10月20日～ 10月24日	体験講師／宮川正子、石井美香 実演者／貝澤竹子、荒木繁、長縄由加利 阿部紘美、吉田信男
	新千歳空港 ターミナルビル 2階	令和4年 11月24日～ 11月28日	体験講師／貝澤竹子、長縄由加利 実演者／宮川正子、石井美香、阿部紘美 吉田信男
	新千歳空港 ターミナルビル 2階	令和5年 3月2日～ 3月6日	体験講師／長縄由加利、阿部紘美 実演者／貝澤竹子、荒木繁、吉村政彦 吉田信男
白老町	白老駅北観光 商業ゾーン	令和4年 10月7日～ 10月10日	体験講師／荒木繁、高橋志保子、中村幸子、 盛永梨絵、下河ヤエ 実演者／吉田信男
東京都	ギャラリー 八重洲	令和5年 1月16日～ 1月21日	実演者／荒木繁、吉村政彦

○博物館の民族資料の熟覧・講習受講等による知識・技能等の向上、先進地視察や国立民族学博物館の外来研究、技術指導受講などによる研鑽、調査研究及び経営研修などを進める「工芸者技術研修」を行った。

<道外研修>

国立民族学博物館（大阪府吹田市）
参加申込みがなく、本年度の実施を見送った。

<道内研修>

①道内調査研究（国立アイヌ民族博物館）
参加申込みがなく、本年度の実施を見送った。

②道内技術研修

アイヌ工芸者の技術向上と経営手法を習得するため、熟練工芸作家による技術指導と経営や販売促進に関する研修を実施した。

- ・研修期間：令和4年1月～3月（計6回）
- ・講 師：①技術指導（刺しゅう）優秀工芸師 宮田初枝
②技術指導（編み）優秀工芸師 堀悦子
②経営セミナー 中小企業診断士 山本美紀
- ・参加者：刺しゅう 西山美紀子（標津）／西山知花（標津）
編み 内山藤子（白糠）／廣川和子（帯広）／井上綾子（阿寒）
- ・報告会：研修終了後、研修報告会を実施した。

(4) 民族文化の保存・伝承及び発展に関する施策の推進

- ・期 間 令和5年2月10日(金)～14日(火)
- ・場 所 かでる2・7 1階展示ホール
- ・参加地区数 9地区協会(29人)
- ・出品数及び 伝統工芸品部門 28点 一般工芸品部門 42点 計70点
- ・審査委員 元道立近代美術館学芸部長 浅川 泰
 北海道立総合研究機構工業試験場研究主幹 万城目 聡
 (敬称略) 北海道博物館学芸主査 大坂 拓
 北海道アイヌ協会優秀工芸師 宮田 初枝
 北海道アイヌ協会優秀工芸師 貝澤 徹
 北海道アイヌ協会優秀工芸師 岡田 育子
- ・受賞者一覧

	伝 統 工 芸 品 部 門			一 般 工 芸 品 部 門		
	作品名	地区名	氏 名	作品名	地区名	氏 名
最優秀賞 (※1)	イタ(長角盆)	平 取	平村 太幹	トートバッグ	平 取	二谷 文子
優秀賞 (※2)				チンヂリの タペストリー	標 津	西山 知花
優秀賞 (※3)	イタ(盆)	平 取	西山 涼			
優秀賞 (※4)	木綿衣	標 津	西山美紀子	タペストリー	札 幌	石井 彩花
奨励賞	ニマ	札 幌	居橋 朗	バッグ	札 幌	宮川 正子
同	カパラミフ	洞爺湖	菅原恵美子	バッグ	札 幌	光野 智子
同	ルウンペ	札 幌	長縄由加利	アイヌ文様の服	札 幌	小川 早苗
同	アタンプサ (樺太アイ帽子)	札 幌	小川 早苗	はんてん	平 取	貝澤すみれ
同	カパラミフ	札 幌	貝澤すみれ	ポーチ	白 老	平田 早苗
同	トンコリ	札 幌	早坂 雅賀			

※1 最優秀賞(北海道知事) ※2 優秀賞(北海道議会議長)
 ※3 優秀賞(北海道教育委員会教育長) ※4 優秀賞(かでる賞)

②アイヌ民俗文化財伝承・活用事業（道教委委託事業）

○アイヌ民俗文化財理解のための用語や伝統技術の習得、民俗芸能の伝承等の講座を開設し一般市民及びアイヌ同胞への伝承普及等を図った。

- ・アイヌ民俗技術伝承講座 5会場(札幌/白老/むかわ/帯広/釧路)
- ・アイヌ民俗芸能伝承講座 5会場(札幌/白老/むかわ/帯広/釧路)
- ・アイヌ民俗技術・芸能伝承講座発表・展示
令和4年12月10日（土）、むかわ町「四季の館」にて実施

③アイヌ民族文化祭2022

民族文化の伝承と発展を図るため、「アイヌ民族文化祭2022」を開催した。

◆開催日時：令和4年9月3日（土） 13:00～16:45

◆開催場所：釧路町公民館ホール

◆入場者数：200人（関係者、出演者等を含む）

◆内 容：

主催挨拶	理事長	大川 勝
共催挨拶	釧路町長	小松 茂
来賓挨拶	北海道アイヌ政策監	相田 俊一

講演Ⅰ

- ・講師Ⅰ 甲地 利恵（北海道博物館アイヌ民族文化研究センター 研究主幹）
「アイヌ音楽と出会う」

文化公演 アイヌ古式舞踊

- ・春採アイヌ古式舞踊釧路リムセ保存会

講演Ⅱ

- ・講師 佐藤 宥紹（吉良平治郎の生涯と時代背景～今に、読み解くこと～）

演劇公演

- ・釧路演劇集団
「アイヌ通送人 吉良平治郎」

④ウポポイ園内アイヌ舞踊等披露発信事業

各保存会に地域で伝承してきた古式舞踊をウポポイの体験交流ホールで披露していただきアイヌ文化の発信と理解促進を目的に実施した。

- ・参加団体 6保存会
- ・実施時期等 6月から1月 13回
(1回土日の2日間。1日2公演。1公演30分)
- ・観客数 総観客数8,608人(1公演当たり約166人)

⑤ウポポイ運営モニター事業

各地区協会や保存会等アイヌ関係団体会員等にモニターになっていただき、博物館等ウポポイの各施設群やそで実施されている体験プログラム等を観覧していただき、アイヌ民族の目線から、感想や意見、要望等をアンケート方式で出していただき、ウポポイのよりよい運営に資することを目的に実施した。

- ・調査期間 6月から3月
- ・参加団体等 22団体317名

(5) 諸民族との交流及び情報交換

①国内文化交流事業

○北海道大学及び札幌医科大学イチャルパ（供養祭）など、古式に則る先祖供養の実施により伝統文化の体験交流と技能習得による保存活動を実施し、併せて人類学等の研究者、大学関係者との遺骨返還方法等の協議や研究成果の社会還元、相互理解等を図った。

「北大イチャルパ文化交流の集い」－北海道大学アイヌ納骨堂におけるイチャルパー

- ・日 程：令和4年8月5日（金）13:00～15:00
- ・場 所：北海道大学医学部敷地内「アイヌ納骨堂」
- ・参加者：50人

「札幌医大イチャルパ文化体験交流の集い」－札幌医科大学におけるイチャルパー

- ・日 程：令和4年10月5日（水）13:30～15:20
- ・場 所：札幌医科大学構内
- ・参加者：25人

○文化理解の促進と伝承活動の活性化を図るため、アイヌ古式舞踊の保存団体を招聘した「芸能交流会」を開催し、各地に伝わる舞踊や歌、楽器演奏等を一般市民やアイヌ同胞に紹介した。

- ・日 程：令和4年9月23日（金・祝）
- ・場 所：真歌公園広場（新ひだか町静内真歌）
- ・出 演：10保存会

○後継者の育成とアイヌ文化等の理解促進を図るため、「優秀工芸師」による「優秀工芸師秀作展示交流会」を開催し秀逸な作品の展示、技術指導を行った。

- ・日 程：令和5年2月10日（金）～13日（月）
- ・場 所：かでる2・7 1階展示ホール
- ・実演者：優秀工芸師 4人

(6) 道立アイヌ総合センターの管理

北海道条例に基づき指定管理者として道立アイヌ総合センターの指定管理業務を行った。

○一般市民に対しアイヌ民族への理解を深めるため、常設展示や関係図書、史・資料の利活用の促進を図った。施設空間の活用などによりアイヌ文化の体験学習や講習会を実施、伝承と保存活動を推進した。

令和4年度アイヌ総合センター学習事業実績

※新型コロナウイルス感染症拡大のため、定員を縮小した。

講習名	日程	講師名	延べ人数
アイヌ刺しゅう講習会（初級）	6月9日、6月16日 6月23日、6月30日	宮田初枝	36人 (9人×4回)
アイヌ刺しゅう講習会（中級①）	7月7日、7月14日 7月21日、7月28日 8月4日	宮田初枝	45人 (9人×5回)
アイヌ刺しゅう講習会（中級②）	8月18日、8月25日 9月1日、9月8日 9月15日	宮田初枝	35人 (7人×5回)
アイヌ刺しゅう講習会（勉強会）	6月13日、6月20日 6月27日、7月11日 7月25日、8月8日 8月22日、9月5日 9月26日、10月3日 10月17日、10月31日	宮田初枝	96人 (8人×12回)
合計			212人

○自主事業等の実施

（自主企画事業）

- ・アイヌ民芸品（北海道アイヌ伝統工芸展受賞作品）をアイヌ総合センター内に展示し、優秀作品の鑑賞機会の提供と伝承技術の奨励を促進した。

（広報活動等）

- ・アイヌ協会ホームページ、講習会周知、かでの広報への施設案内・行事の周知を行った。

（7）人種、民族に関する調査研究及び提言

先住民族アイヌに関する文化的伝統や慣習、歴史、言語、文化遺産、文化的表現を保持、管理、保護し、発展させるため、必要な情報収集に努めた。

①アイヌ民俗文化財調査事業 道教委委託事業

○故金成マツ筆録、ユカラ翻訳整理及び伝統的な生産生業、民俗技術、口承文芸などの調査を行った。

- ・萱野茂二風谷アイヌ資料館保管の金成マツノート中、2話の翻訳整理と原稿化。
表記法等：（筆録原文音素表記・アイヌ語カナ表記・邦逐語訳/対訳）2編。
- ・民俗技術の調査